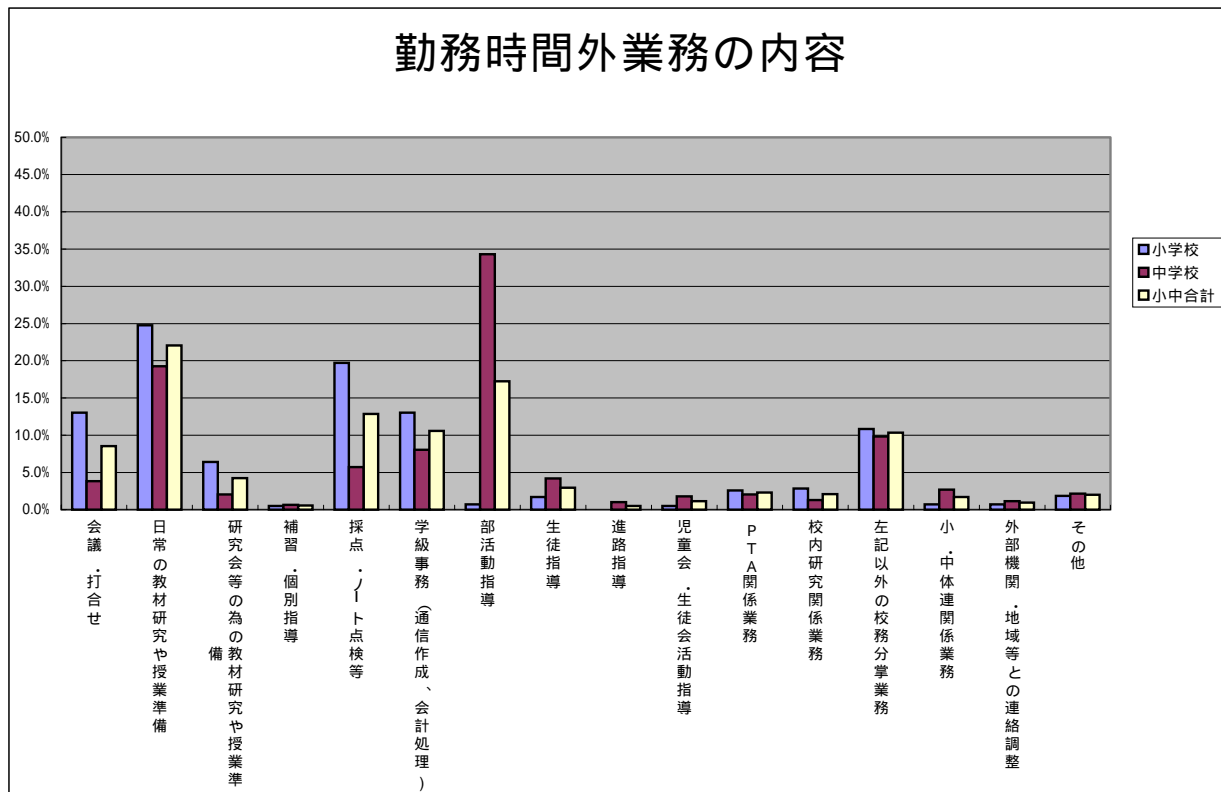
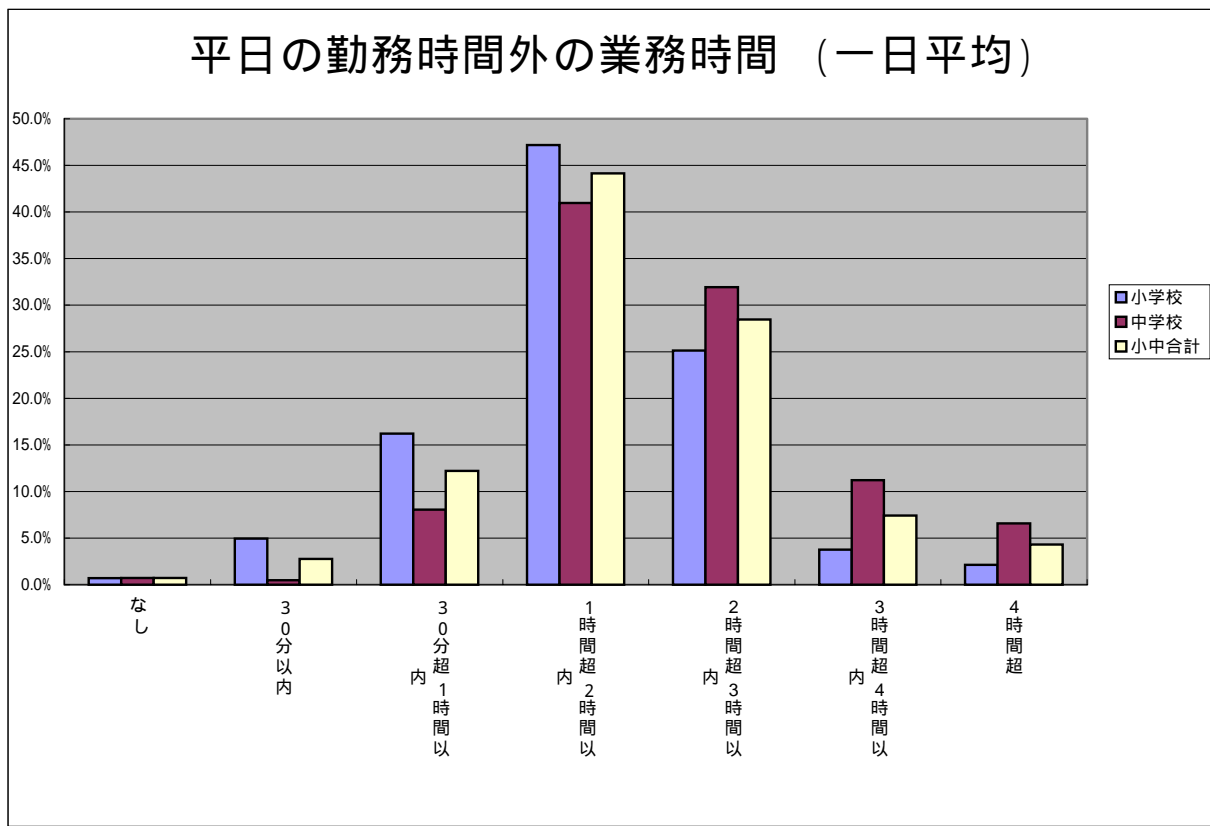


# 資料 2

## 平成 1 8 年度教員の勤務実態調査の分析結果



## 調査結果の分析

### 1 平日における勤務時間外の業務の実態

#### (1) 平日の勤務時間外の業務時間

1日平均で、「1時間超2時間以内」が最も多い(小中学校 44.1%)

次いで、「2時間超3時間以内」(28.5%)「1時間以内」(12.2%)、となっている。

小学校、中学校とも、小規模校に比べ、大規模校での時間外業務の時間が多くなっている。

特に、中学校では、「2時間超3時間以内」の者が3割に達している。

#### (2) 平日の勤務時間外の業務内容(複数回答/ %は回答数を回答者数で割った割合)

##### 【小学校】

「日常の教材研究や授業準備」(47.2%)、「採点・ノート点検等」(37.6%)、「学級事務(通信作成、会計処理)」(24.9%)の順に回答が多かった。

##### 【中学校】

「部活動指導」(65.6%)、「教材研究や授業の準備」(36.8%)、「上記以外の校務分掌業務」(18.8%)の順に回答が多かった。

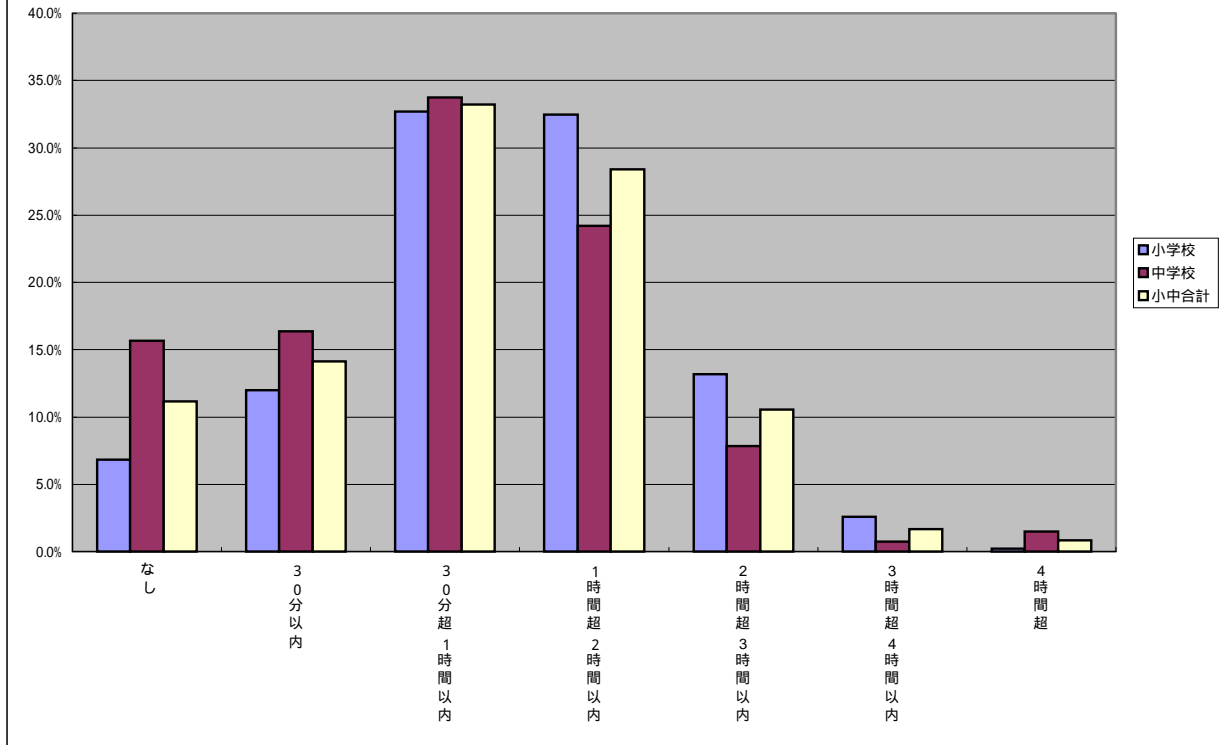
##### 【小中学校比較】

ア 小学校では、「教材研究や授業の準備」、「採点・ノート点検等」等の学習指導に係る業務を行っている者が多い。

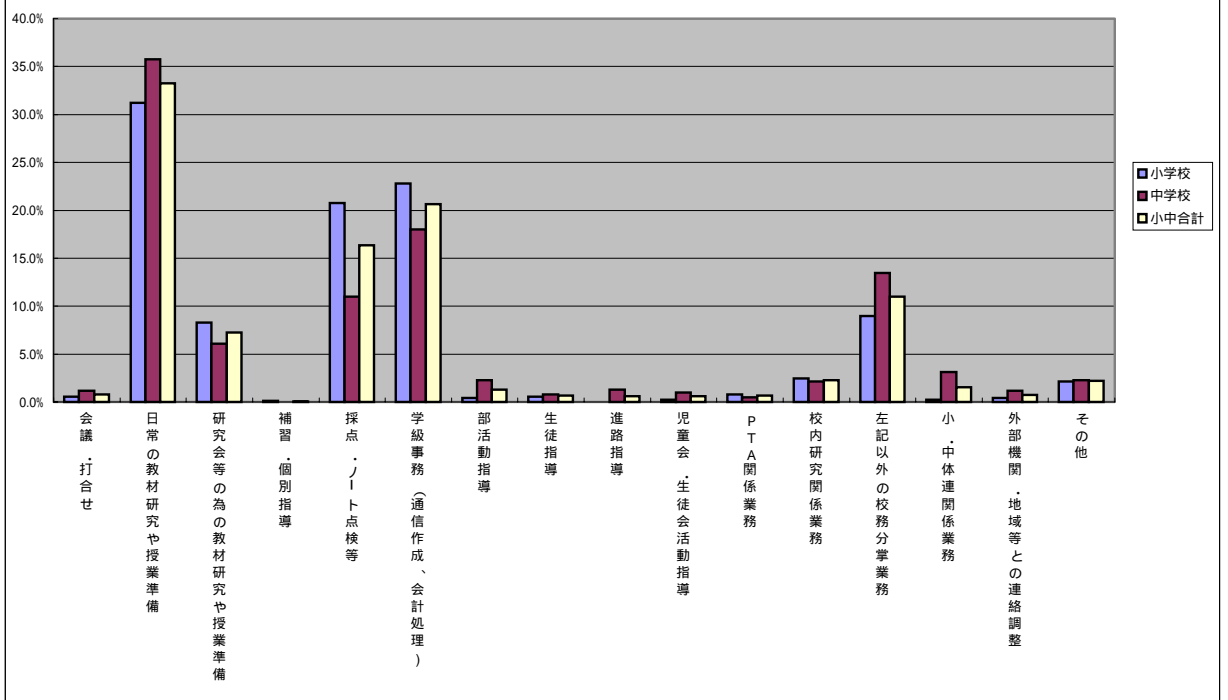
イ 中学校では、「部活動指導」を行っている者が多い。

ウ 小中学校ともに、「会議・打合せ」(小学校 24.9、中学校 7.3)が、勤務時間外に行われている実態が見られ、小学校教員の回答割合が多い。

## 平日に自宅で行なった業務時間（一日平均）



## 平日に自宅で行った業務内容



## 2 平日の自宅における勤務時間外の業務の実態

### (1) 平日に自宅で行った業務時間

約4割の小中学校教員が、平日に1時間以上、自宅で業務を行っている。  
業務時間1時間以上は、「1時間超2時間以内」(小中学校28.3%)、「2時間超3時間以内」(10.5%)、「3時間超4時間以内」(1.7%)、「4時間以上」(0.8%)を合わせると約4割で、「1時間以内」(47.2%)[うち「30分以内」が14.1%]も合わせると、約9割の小中学校教員が、平日自宅で業務を行っている。  
平日に自宅で行った業務「なし」の回答は、約1割である。

### (2) 平日に自宅で行った業務内容(複数回答/ %は回答数を回答者数で割った割合)

#### 【小学校】

「教材研究や授業の準備」(54.0%)、「学級事務(通信作成、会計処理)」(39.4%)、「採点・ノート点検等」(35.9%)の順に回答が多かった。

#### 【中学校】

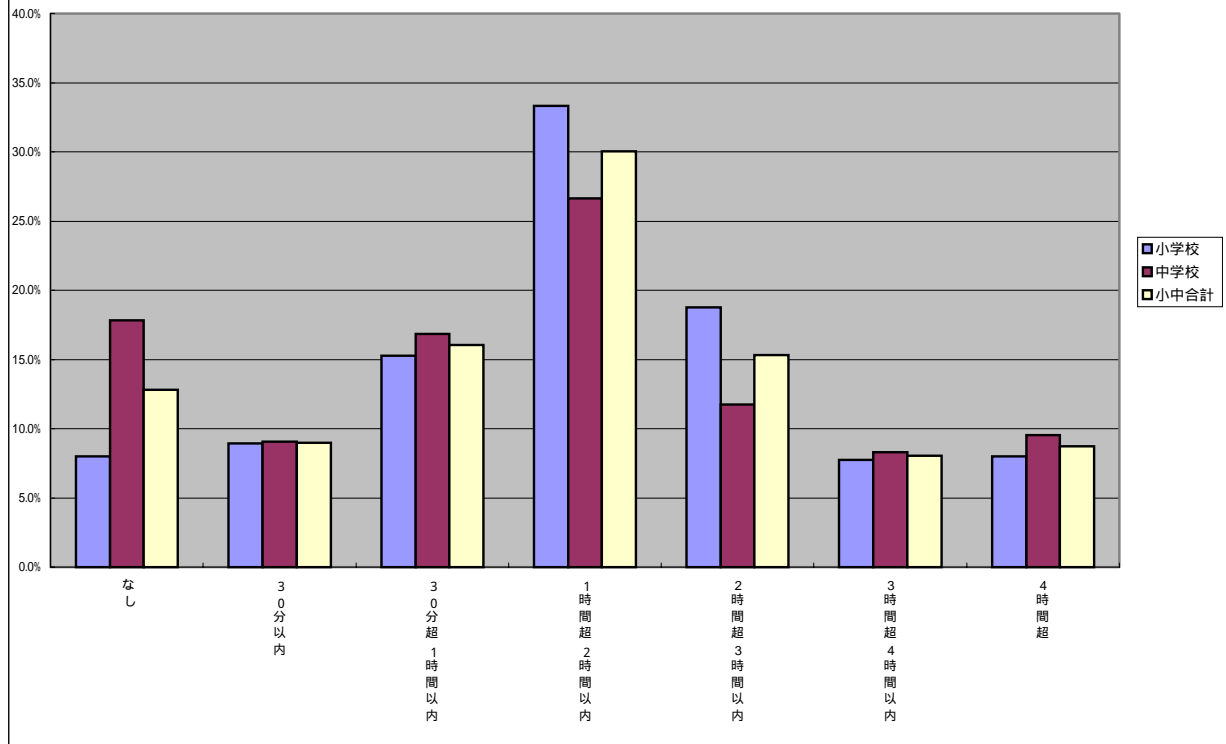
「教材研究や授業の準備」(53.2%)、「学級事務(通信作成、会計処理)」(26.8%)、「上記以外の校務分掌業務」(20.0%)の順に回答が多かった。

#### 【小中学校の比較】

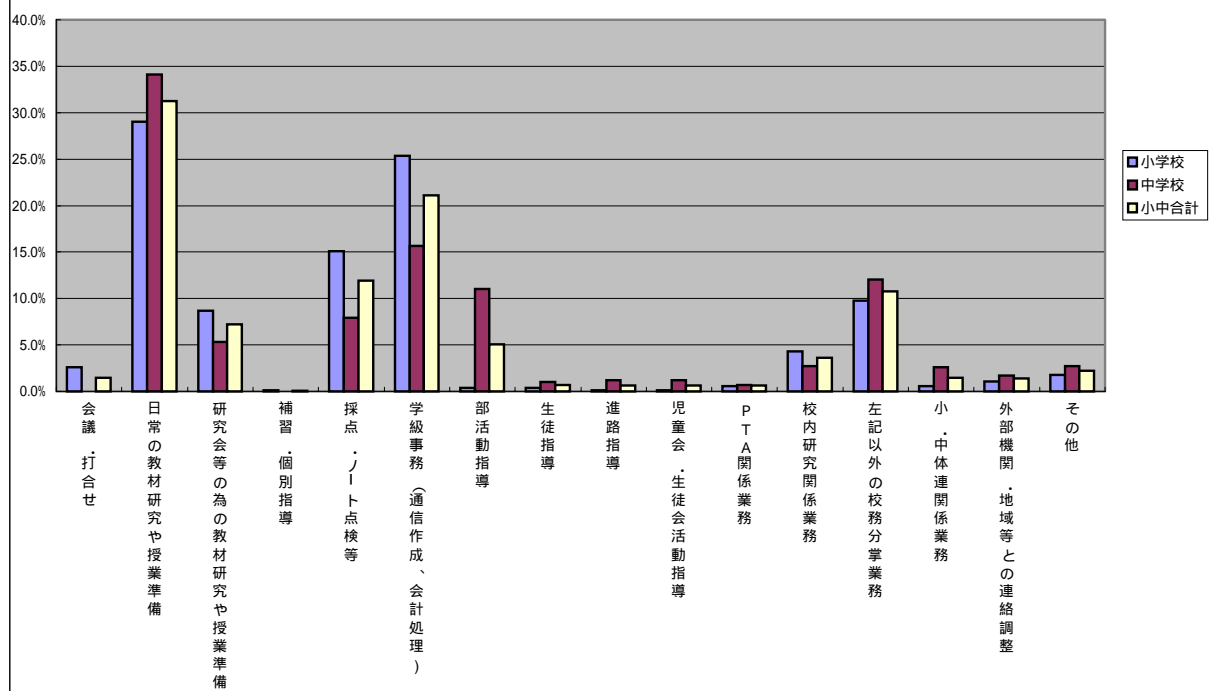
ア 小学校では、「教材研究や授業の準備」や「採点・ノート点検等」の学習指導に係る業務のほか、「学級事務(通信作成、会計処理)」の業務を行っている教員が多かった。

イ 中学校も、小学校と同様に、自宅では、「教材研究や授業の準備」等の学習指導に係る業務のほか、「学級事務(通信作成、会計処理)」や「上記以外の校務分掌業務」を行う教員が多かった。

## 土日に自宅で行なった業務時間（一日平均）



## 土日に自宅で行った業務内容



### 3 土日に自宅における勤務時間外の業務の実態

#### (1) 土日に自宅で行った業務時間

回答者の約6割は、土日に自宅で1時間以上の業務を行っている。

業務時間1時間以上は、「1時間超2時間以内」(小中学校30.0%)、「2時間超3時間以内」(15.3%)、「3時間超4時間以内」(8.0%)、「4時間以上」(8.7%)を合わせると約6割で「1時間以内」(25.0%)〔うち「30分以内」が9.0%〕も合わせると、9割近くの小中学校教員が、土日に自宅等で業務を行っている。

土日に自宅で行った業務「なし」の回答は、約1割である。

#### (2) 土日に自宅で行った勤務時間外業務の内容

(複数回答 / %は回答数を回答者数で割った割合)

##### 【小学校】

「日常の教材研究や授業準備」(50.2%)、「学級事務(通信作成、会計処理)」(43.9%)、「採点・ノート点検等」(26.1%)の順に回答が多かった。

##### 【中学校】

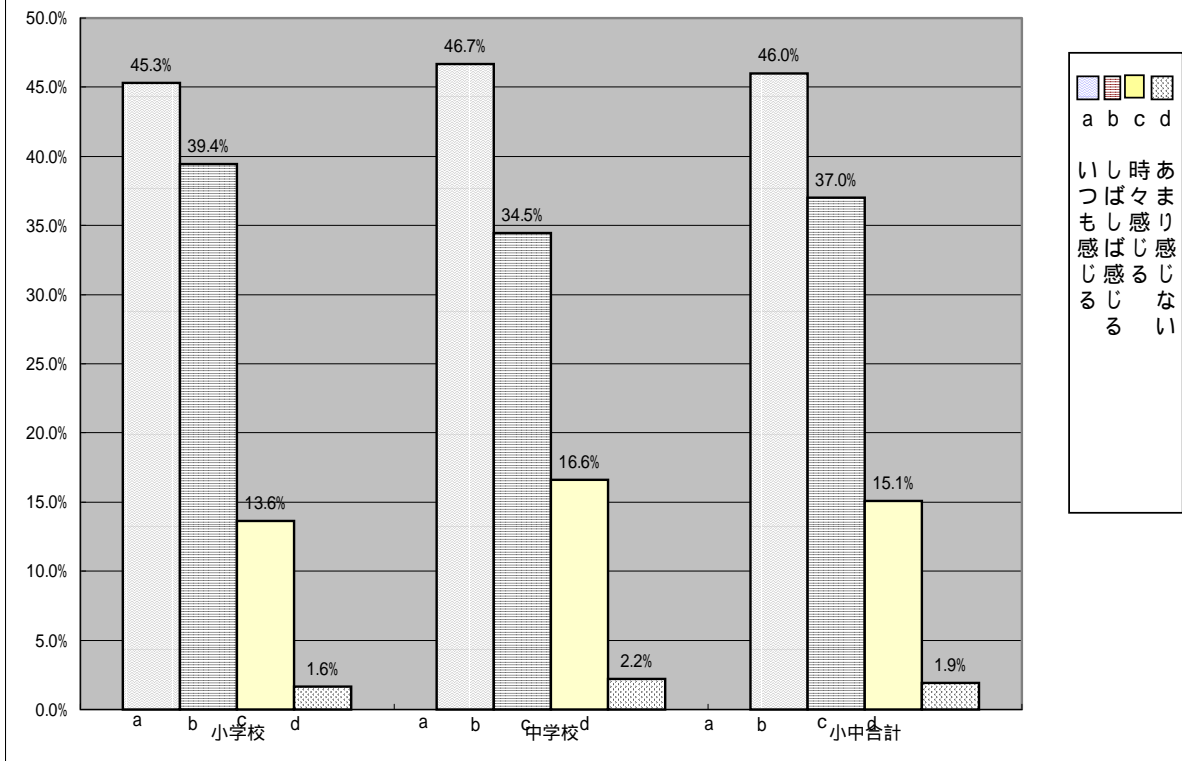
「日常の教材研究や授業準備」(48.3%)、学級事務(通信作成、会計処理)」(22.2%)、「上記以外の校務分掌業務」(17.1%)の順に多かった。

##### 【小中学校の比較】

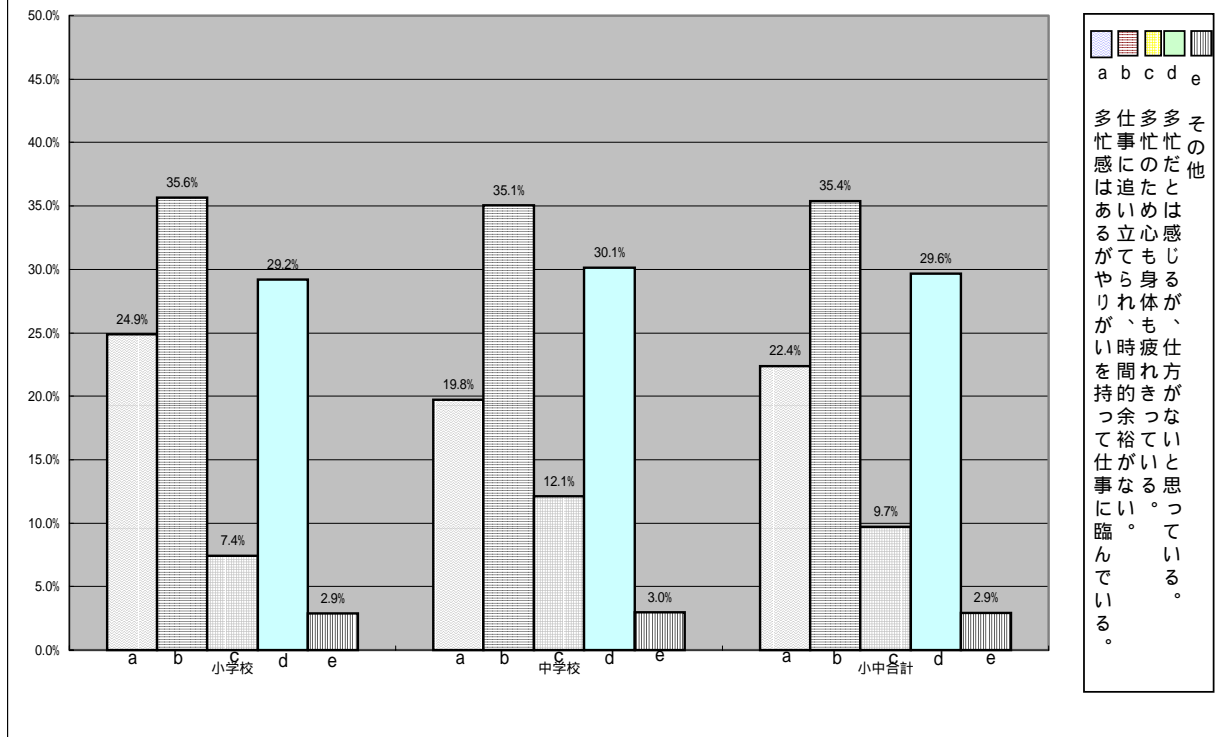
ア 小学校では、「日常の教材研究や授業準備」や「採点・ノート点検等」の学習指導に係る業務のほか、「学級事務(通信作成、会計処理)」の業務を行っている教員が多かった。

イ 中学校も、小学校と同様に、自宅では、「日常の教材研究や授業準備」等の学習指導に係る業務のほか、「学級事務(通信作成、会計処理)」や「上記以外の校務分掌業務」を行う者が多かった。

## 多忙であると感じる程度



## 多忙感の受け止め方



#### 4 多忙の感じ方

回答者のほとんどが、多忙だと感じている。

多忙だと「あまり感じない」(1.9%)と回答した小中学校教員は2%弱に止まり、多忙だと感じている教員は、「いつも」(46.0%)、「しばしば」(37.0%)、「時々」(15.1%)感じるを合わせると、実に98%の者が、多忙だと感じながら、職務に当たっていることが分かる。

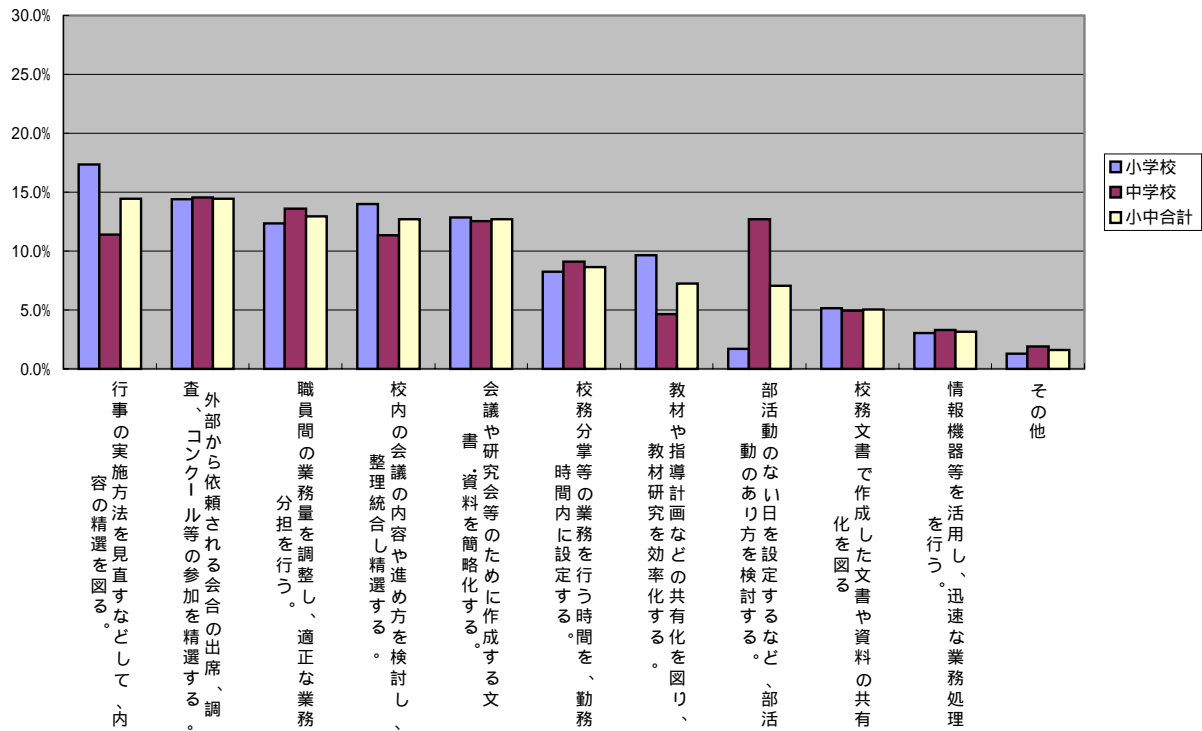
#### 5 多忙感の受け止め方

「多忙は感じるがやりがいを持って仕事に臨んでいる」者は、約2割である。

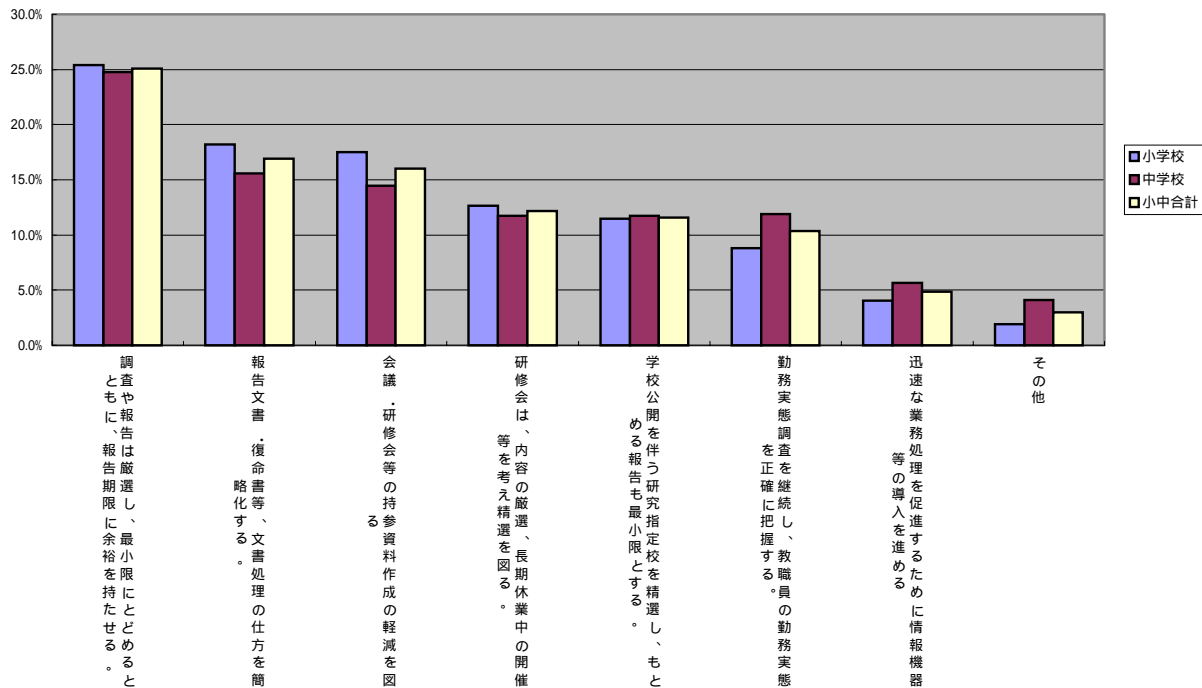
「多忙は感じるがやりがいを持って仕事に臨んでいる」(22.4%)者は、約2割であり、「仕事に追い立てられ、時間的なゆとりや心の余裕がない」(35.4%)、「多忙だとは感じるが、仕方がないと思っている」(29.6%)と6割強の者が、回答している。また、約1割の者が、「多忙のため、心も身体も疲れ切っている」(9.7%)と回答している。



## 学校における多忙化解消の対策



## 行政における多忙化解消の対策



## 6 学校における多忙化解消の対策（複数回答 / %は回答数を回答者数で割った割合）

回答者の約4割が、「行事の内容」や、「外部の会合出席、調査、コンクール等参加」の精選を図る必要があると考えている。

約4割の回答者が、「行事の実施方法を見直すなどして、内容の精選を図る」（41.1%）また、「外部から依頼される会合出席、調査、コンクール等参加を精選する」（41.1%）必要があると感じている。

また、「職員間の業務量を調整して、適正な業務分担を行うこと」（36.8%）、「校内の会議の内容を検討し、整理統合すること」（36.1%）、「会議や研究会等のために作成する文書・資料を簡略化する」（36.1%）必要があると回答した者が多かった。

## 7 教育委員会等行政における多忙化解消の対策

（複数回答 / %は回答数を回答者数で割った割合）

約7割の回答者が、教育委員会等の「調査や報告」は最小限にとどめ、報告期限に余裕を持たせて欲しいと考えている。

「調査や報告は厳選し、最小限にとどめるとともに、報告期限に余裕を持たせる」（71.2%）という回答が、回答者の約7割と最も多い。

また、「報告文書・復命書等の文書処理の仕方を簡略化する」（48.0%）こと、「会議・研修会等の持参資料作成の軽減を図る」（45.5%）ことも、多忙化の解消に繋がると考えている。